



いしかわ労福協

第 499 号 2009年8月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 上田弘志
 編集人 宮下 亮
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行
 定 価 一部 20円
 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

全労済

石川県勤労者共済生活協同組合第54回通常総代会 全労済石川県本部第35回通常総代会

みんなでたすけあい 豊かで安心できる社会づくり



本田和雄理事長

石川県勤労者共済生活協同組合
 第54回通常総代会と全労済石川県
 本部第35回通常総代会が7月30日
 (木)、金沢市の労済会館3階ホー
 ルで、県内の地域・職域の総代人
 154名(委任状90名含む)が出席し
 て開催された。

2009年度役員

理事長	本田 和雄	理事会
専務理事	水野 志郎	〃
理事	山口 幸男	金沢東・北地区
〃	米田 豊一	金沢南地区
〃	浅野 正	金沢西地区
〃	柚木 茂二	白山地区
〃	紺谷 充弘	小松・能美地区
〃	米谷 光枝	小松・能美地区
〃	上出美津夫	加賀・江沼地区
〃	天満 信夫	七尾・鹿島・奥能登地区
〃	富田 航	JAM
〃	高 芳晴	自治労
〃	島崎 靖夫	UIゼンセン同盟
〃	荒木 宗昭	全国一般
〃	石塚 聡	電力総連
〃	田中 重雄	全自交ハイタク
〃	中江 信男	運輸労連
〃	長崎 正	自動車総連
〃	小林 宣之	情報労連
〃	石橋 誠	全港湾
〃	狩山 久弥	連合石川
〃	渡村八十年	(地域) 七尾・鹿島地域
〃	坂井 幸次	(地域) 金沢地域
〃	田畑 都	(地域) 白山・野々市地域
監 事	高橋 昌子	理事会
〃	津野 忠司	職域
〃	高畠 健	職域

中江信男理事の開会挨拶の後、議長に泉祐二氏と豊田裕氏の両総代人を選出し、スタートした。冒頭、本田和雄理事長は、全国で集中豪雨や竜巻などの異常気象が発生している。昨年は金沢での浅野川水害、その前年は能登半島地震と、あらためて「自然災害共済」の重要性が認識される状況となっている。

また、昨年末からの世界同時不況により、国内はもとより、石川県内でも各産業、各社とも厳しい業績となっており、労働組合も雇用問題も含め、厳しい環境に置かれている。全労済石川県本部の事業も、件数および口数とも期首割れの状況で厳しい結果となった。さらに、全労済の課題としては、「生協法の改正」でコンプライアンス・ガバナンスや契約者の保護「代理店の設置」「地域ライフ・サポートセンターとの連携強化」が挙げられる。来年の50周年に向けて、組織、財政基盤の強化を進めると挨拶した。

次に、来賓として、多賀憲二石川県県民文化局県民生活課長、羽場利夫金沢市産業局長上田弘志石川県労福協理事長がそれぞれ祝辞を述べた。また、後本泰裕全労済中日本事業本部総合企画部長を紹介した。

引き続き、天満信夫理事から2008年度優秀団体として、12団体に対して表彰した。また、地域貢献助成事業として子ども分野助成団体の2団体に助成を行った。

2008年度事業報告では水野志郎専務理事から報告があり、全労済石川県本部の2008年度結果は、加入口数は498,734口のマイナス(前年比98.7%)、件数では7,305件のマイナス(前年比97.9%)と期首割れの厳しい状況となった。その中でも、慶弔共済は連合石川助け合い運動の展開で、8団体の新規・贈口加入を果たし、マイカー共済も制度・掛金改定に伴い、目標達成を果たすことができた。団体生命共済やこくみん共済の大幅なマイナスは組合員の減少、特に団塊世代の大量退職が響いていることが大きな要因となっている。

給付状況では、件数で20,408件(前年比2,080件マイナス)、金額は3,478,358,218円(前年比150,669,375円マイナス)となった。減少理由は昨年特に大きな災害がなかったことによる。

来年は8月10日に設立50周年の大きな節目を迎える。「NEXT50いしかわ」と銘打って、地域ライフ・サポートセンターと連携し、地域毎のイベント開催に取り組んでいくことが報告された。

質疑応答での意見はなく、全ての議案が満場一致



水野志郎専務理事



中江総務委員長



天満業務委員長

で可決した。役員選挙では、役員定数どおりの立候補で、候補者全員が当選となり、2009年度から任期2年の新しい体制となった。

三重県労福協・石川県労福協意見交換会



7月29日(水)、三重県労福協の土森弘和会長、松林弘事務局長ら14名の一行が、石川県労福協との意見交換会のために来局した。

土森会長は、「三重県労福協でも地域ライフ・サポートセンター体制をとる計画をしているが、従来から11地区労福協の体制が確立している中で、石川県労福協が現在の体制をとる時の苦労点は何だったのか、率直な意見交換をしたい」と挨拶された。

石川県労福協は、「暮らしの総合サポートセンター」の紹介として、才田巖専務理事がパワーポイントを使い、「ライフ・サポートセンターの概要」「緊急サポートネットワーク事業の展開」「就業支援『ジョブいしかわ』事業の展開」について説明した。意見交換会では、ジョブいしかわの就職先情報や相談体制、なんでも相談の体制、ライフ・サポートセンターの実情や課題、新公益法人制度での方向性など様々な質問・意見が出された。

その後、3階の労福協事務局へ案内し、会館受付、ライフ・サポートセンター事務局、ジョブいしかわ相談室などを見学された。

後日、三重県労福協の松林事務局長から「大変良い意見交換会だった。先進的取り組みをされている石川県労福協の話の伺い、勉強になった。」との御礼をいただいた。

2009年度 中央労福協 国内交流inさいたま

7月23日(木)~24日(金)、埼玉県県民健康センターで中央労福協主催の国内交流「inさいたま」が、全国33都道府県から地方労福協やライフ・サポートセンター、各事業団体、連合の代表者ら103名が参加し、開催された。

冒頭、主催者を代表して笹森清会長が「労福協60周年、連合20周年の年を迎え、労働運動の原点に立ち戻った取り組みを展開しなければならない」と挨拶し、地元の片山修三埼玉労福協理事長が歓迎の挨拶をした。

最初に、鈴木雄一埼玉労福協専務理事が「ネットワークSAITAMA21運動」の取り組みとして埼玉労福協の活動を説明した。「労働組合の新しいカタチとして、労働組合が行政、企業、NPOと連携して取り組まねばならない。」と述べ、それぞれの組織が今までの意識を捨てて、連携していくべきだと話した。

次に、活動事例報告として、「ふれあいコミュニティファンド」がNPO活動とどう協働しているかとして、さいたまNPOセンターの村田恵子専務理事、ハローワークキャップ・タイムの進藤敬子事務局長、シニア人財バンクの櫻井靖氏がそれぞれの体験談を話した。

また、パネルディスカッションとして「労働組合・労福協とNPOの協働のススメ」をテーマに、



高橋均中央労福協事務局長をコーディネーターとし、パネラーに連合埼玉、埼玉労福協、NPOが参加し、討議・意見交換し、第1日目を終えた。

2日目は、会場を浦和コミュニティセンターへ移し、「埼玉大学がめざす地域貢献と社会的役割」をテーマに、上井喜彦学長の記念講演が行われた。次に、東部労福協「リーダー塾」の概要として、大森栄司事務局長から説明があった。最後に会議が行われたコミュニティセンター概要の説明を聞き、国内交流を終えた。

なお、石川労福協からは宮下亮常務理事、谷内英明県LSC事務局次長が参加した。

子育て支援 いしかわ緊急サポートネットワーク

会員募集状況／サポート状況 6月30日現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	11	7
わじま	2	12	4
ななお	6	4	0
はくい	2	5	0
かほく	15	60	10
かなざわ	121	374	247
はくさん	28	77	7
こまつ・のみ	18	39	12
かが	0	0	0
計	168	448	343

事務局日誌

開催日	曜日	会議・行事	開催場所
8月3日	月	事務局会議	ルネパーク石川
8月6日	木	中部労福協第2回幹事会(～7日)	滋賀県
		公益法人・給与計算事務講座(～8日)	大阪
		第5回住宅生協対策委員会	連合応接室
8月11日	火	職業紹介責任者講習会(～12日)	大阪
		ろうきん第2回常任推進委員会	
		ろうきん部会	
8月13日	木	会館休館(～16日)	
8月19日	水	緊急サポート会員研修会	労済会館
8月21日	金	富山労福協50周年記念祝賀会	富山市
8月22日	土	緊急サポート会員研修会	ルネパーク石川
8月25日	火	石川労福協第3回理事会	ルネパーク石川
8月29日	土	ぶどう狩	加賀
8月30日	日	衆院選投票日	

職業紹介責任者講習を受講

ジョブいしかわの新所長として宮下亮常務理事が、職業安定法により、選任が義務づけられている職業紹介責任者に対する法の趣旨、職業紹介責任者の職務、必要な事務手続き等についての講習を受講した。

講習は(社)全国民営職業紹介事業協会の主催で、8月12日(水)大阪のホテルアウリーナで参加者270名もの多数の受講者のもと開催された。□民営職業紹介事業制度の概要について 全民協の宮本求大阪事務所長が、雇用環境の変化による職業紹介事業制度の動きや有料職業紹介事業と無料職業紹介事業、公共職業安定機関と民間・地方公共団体の職業紹介事業など基本的な概要および最近の動きについて説明した。□職業紹介サービスの在り方・紹介あつせんの方法について 東京成徳大学大学院の木村周客員教授が、職業紹介事業の運営にあたり、均等待遇、労働条件の明示及び個人情報保護の重要性について説明した。雇用対策法で募集・採用における様々な禁止項目があることを認識しなければならないとした。□職業安定法及び関連法令について 全民協の三沢孝専務理事が、職業安定法から労働基準法、労働契約法、雇用対策法等関連する法令の該当する項目について説明があった。職業紹介事業にあたる者は、労働条件の原則を認識し、法令を詳しく理解していなければならないとした。□個人情報保護の取り扱いに係る職業安定法の遵守と公正な採用選考の推進について 元大阪府労働部職業業務課長の左部光氏が、公共職業安定機関にいた経験も踏

職業紹介責任者講習会 受講証明書

宮下 亮 殿

平成 21 年 8 月 12 日 大阪府 において、
職業紹介責任者講習会を受講したことを
証明する。

社団法人 全国民営職業紹介事業協会

会長 白井 晋太郎



番号 (001-090812271-03919)

まえ、求職者との話し合いや雇用における男女の均等な機会及び待遇の確保などについて説明した。□民営職業紹介事業の運営及び職業紹介責任者の職務上の問題点について 全民協大阪事務所の森山民雄職業紹介事業アドバイザーが、職業紹介事業に関する手続要領や運営、職業紹介責任者の立場、職務上での注意点、措置などについて説明した。

ジョブいしかわ職業相談状況

2009年6月末

該当月		求 職			求 人			紹介結果状況		
		求職者		未就職者	件数 (社)	求人数		就職者数		紹介者数
		訪問者数	登録者数			新規受付	有効数	合計	内独自	
2009年3月	増	91	52	44	11	29	27	6	2	8
	減		8		2	2				
2009年4月	増	10	3	3	1	1	1	0	0	2
	減		0		0	0				
2009年5月	増	20	9	7	0	0	0	1	0	0
	減		2		0	0				
2009年6月	増	6	5	5	0	0	0	0	0	0
	減		0		0	0				
2009年度合計	増	36	17	15	1	1	1	1	0	2
	減	0	2		0	0				
累 計		127	59	59	10	28	28	7	2	10

中央労福協 第4回地方労福協会議



中央労福協は7月2日～3日、一ツ橋「如水会館」にて第4回地方労福協会議を開催した。全国47都道府県から地方労福協の事務局長・専務理事らが参加し、1日目は2009年度前半の主要課題についての総括と、秋に向けて主要な労働者福祉協議会としての取り組みを確認し、2日目は各地域での取り組みを報告し、意見交換を行った。

冒頭、座長の遠藤副会長より新潟（金子博専務理事）、富山（安東誠専務理事）、佐賀（井原好朝事務局長）、熊本（吉永徹男事務局長）、鹿児島（満留幸一郎事務局長）の新事務局長・専務理事の紹介に続き、2009年度前半の主要課題の活動、取り組み等について高橋均事務局長より報告があった。

その後、宇都宮弁護士より、改正貸金業法の完全施行に向けた取り組みとして、多重債務者対策本部有識者会議の委員を務める立場から多重債務問題改善プログラムのフォローアップについて説明があった。債務整理後の生活再建を応援するしくみとして、勤労者向けのセーフティネット貸し付けの充実に向けた取り組みの必要性についての説明もあった。

続いて、関口邦興税理士と労金協会奈良環氏より地方労福協の税務問題についての報告、さらに公益法人制度改革への今後の対応について全体で認識を共有した。最後に、地方の消費者行政の活性化と充実こそが重要であり、その計画づくりの山場となるこの夏に向けて、消費者団体、労働団体、労働者福祉協議会ともに連携していこうと締めくくった。

ライフ・サポートセンター 広報掲示板を金沢駅地下に設置

県ライフ・サポートセンター事務局は、「福祉なんでも相談」や「ジョブいしかわ」さらに「緊急サポートネットワーク」の総合的な広報掲示板を金沢駅西口の地下道広報エリアに初めて、設置した。ライフ・サポートセンターは「暮らしの総合サポートセンター」を目指すとして、5つの活動の柱を記載し、市民に公な場所で初めての広報掲示となった。

中に掲載する掲示物は入れ替え可能で、労福協の活動や勤文協の催し物案内も掲示する予定だ。



緊サポ・ファミサポ 移行連絡会が発足

「緊サポ」を「ファミサポ」へ移行する方針を踏まえ、労福協は石川県に対して「円滑な移行に向けて話し合うため市・町との連絡会を設置してほしい」と要請してきた。その結果、7月14日に第1回目の連絡会が県庁内で開催された。

当日は、主催者の村上石川県子育て支援監察室課長が連絡会の趣旨を含め挨拶し、その後、金沢市、小松市、加賀市、能美市、白山市、かほく市、内灘町、津幡町、野々市町の担当者からファミサポの現況紹介が行われ、最後に緊サポ事業の概況を説明した後、意見交換を行った。その中で、①子供を預かる時間帯、②利用料金、③利用者補助制度の有無、④病後児預かりの有無、等自治体によって多少の違いがあることが把握できた。連絡会では、今後も引き続き検討すること、年内に2回目の連絡会を開催することを決めた。

地域ライフ・サポートセンターだより

羽 咋

第7回地域交流 グラウンド・ゴルフ大会



6月27日(土)眉丈台グラウンドゴルフ場にて、第7回地域交流グラウンドゴルフ大会を開催した。梅雨の合間の暑い日ではあったが、労金友の会会員、組合員及びお世話をいただいている協会の方、57名が10月の中央大会を目指して熱いプレーを繰り広げた。日々早朝からプレーしている友の会員に比べ、年1~2回しかプレーしない現役組合員が下位を占める結果となった。中央大会においては数年惜しくも優勝を逃していることもあり、上位20名の方にはさらなる奮闘を期待する。

《成 績》

- 優 勝 平内 正雄氏
- 第2位 塩谷 進氏
- 第3位 水口 昭氏

なぎさクリーン運動

7月19日(日)朝6時から千里浜なぎさクリーン運動に参加した。市民、各団体の方々、小中学生など約300名、当LSCも協賛団体として役員を中心に参加した。海が荒れており、波も高かったが約1時間たっぷり汗を流した。4月に1回、それ以外にも清掃されているようで、今回ゴミは少なかったが、美しい自然を守るため、今後ともこのような環境活動に参加していきたいと思う。

羽咋地域LSC事務局長 上田清春

七 尾

恒例のバス旅行

お子さんも夏休み突入、梅雨ももう明けるのではと期待の中、7月25日(土)恒例のバス旅行を開催した。ささら館での楽しいせんべい焼きからスタートしたが、岐阜へ向かうにつれ出発時の雨も一緒についてきたようで、高鷲ダイナランドゆり園、郡上八幡散策ともにあいにくの天候でした。特に郡上八幡では「濡れて参ろう〜」という甘いものではなく、ゲリラ豪雨に見舞われ、一時はどうなることかとハラハラした次第です。それでも参加者の皆様には昼夕の名物食べ尽くしの食事や、沢山のお土産など心に残る旅になり、ほっと胸を撫で下ろした。ちなみに、私事務局長は晴れ男だったので・・・皆様大変お疲れ様でした。

七尾鹿島地域LSC事務局長 井村幸善



加 賀

鶴仙溪の清掃



山中勤労者協議会は、恒例の清掃ボランティアを7月18日早朝6時30分より山中温泉の景勝地である鶴仙溪で行った。この清掃ボランティアは毎年夏の観光シーズンの前に行い、今年で14回目となる。当日は、小雨が降り続く悪天候にも関わらず、25名の参加で行った。作業は、山中勤労者協議会の会員をはじめ、加賀LSC中川真会長や加賀市勤労者協議会の方々の協力、ベンチの清掃を中心に2時間程で順調に終了した。参加された皆様は、小雨の中、大変ご苦労さまでした。

加賀地域LSC幹事 吉沢豊

